

お盆を過ぎると急に空が高くなり、秋の気配が感じられる季節となりました。

8月の保育園は、コロナ感染症、ヒトメタニューモ、ヘルパンギーナ、手足口病と夏風邪を中心に、感染症に悩まされる月になってしまいました。まだまだ急な発熱や湿疹など体調を崩してしまうお子様が多いのが現状です。

保護者の皆さまには、お仕事がお忙しい中、大変な思いをされている方も多いと思いますが、お子さまの健康を第一に考え対応しています。ご理解、ご協力よろしくお願い

手足口病

ウイルスが原因となる感染症。3～5日の潜伏期の後に口の中や手の平・足の裏などに2～3ミリの水膨れのような発疹ができる。38度くらいの発熱を伴うこともある。

通常発疹は、数日で消えるが、数週間してから爪が、はがれるケースもある。まれに、髄膜炎や脳炎などを引き起こすこともあり、頭痛やおう吐などの症状には注意が必要。

ワクチンはなく、かかったら対処療法か自然に治るのを待つしかない。原因となるウイルスは、複数あり一度かかった人や大人でもかかる可能性がある。大人が発症すると痛みを伴うなど症状が強く表れることがあるので注意が必要。

ヒトメタニューモ

2001年に発見され2014年検査キットが登場した為まだ馴染みの薄いウイルス。

遺伝子的にも、症状的にもRSウイルス(RSV)に近いウイルスです。

咳は、1週間前後続き、熱も4～5日程度続きます。悪化すると呼吸がゼーゼーして苦しくなったり、中耳炎や上気道炎、気管支炎、肺炎を合併することもあり、2歳未満の子は、特に注意が必要です。

ヘルパンギーナ

ウイルスに感染することによって引き起こされる咽頭炎です。発熱、のどの痛み、口腔粘膜の水膨れなどが現れる病気。主に小児の間で夏に流行しやすくいわゆる夏風邪の一種とされています。

口の中にできた水ぼうが、唾液などの刺激で破れるため、強い痛みを引き起こし、十分な飲食ができなくなることで、脱水症状になったり、重症化すると髄膜炎や心筋症を発症することもあります。

発症の原因となるウイルスは、接触感染、飛沫感染によって感染が広がっていきます。

お願い

- ・気になる湿疹が出たときは、何の湿疹か、感染してしまうものかどうか、必ず受診し医師の診断が必要になります。
- ・発熱してしまったら平熱になり24時間経過してから登園してください。

以下の症状があるときは、お休みしてください。

- ・食事や水分をとると下痢になる(1日4回以上)
- ・おう吐⇒24時間以内に2回以上吐いた。食欲がなく水分も欲しがらない。